

都心にふさわしい図書館基本計画



平成26年11月

札幌市中央図書館

目次

第1章 都心にふさわしい図書館の整備.....	1
1 設置の背景・経緯.....	1
2 都心にふさわしい図書館整備についての検討.....	3
3 都心にふさわしい図書館の施設概要.....	7
第2章 都心にふさわしい図書館における事業展開.....	9
1 事業の検討.....	9
2 課題解決型図書館に求められる主要な機能と条件.....	12
3 具体的な事業内容.....	15
(1) 仕事や暮らしに関する情報提供.....	16
ア 資料の提供.....	16
イ 情報ガイドの作成.....	20
ウ 各種専門機関と連携した相談窓口.....	20
エ 各種支援セミナーの開催.....	20
(2) 札幌の魅力発信.....	21
(3) 知的空間の創出.....	23
(4) 関連機関等との連携.....	24
4 中央図書館との役割分担.....	25
第3章 資料整備計画.....	26
1 図書.....	26
2 新聞.....	26
3 雑誌.....	26
4 電子書籍及びデジタルコンテンツ.....	27
5 視聴覚資料.....	27
6 データベース.....	28
7 各種情報紹介機能を重視したホームページ.....	28
第4章 管理・運営.....	29
1 開館日・開館時間.....	29
2 運営体制.....	29
参考資料.....	31

第1章 都心にふさわしい図書館の整備

1 設置の背景・経緯

これまで、札幌市の図書館の設置については、図書館を各行政区に1館設置することを定めた「札幌市長期総合計画¹」（昭和46年策定）の「1区1館構想」に基づき、地域住民の社会教育、文化活動の拠点として、昭和54年の菊水図書館（現東札幌図書館）を皮切りに、各区に図書館の建設を進め、平成9年の清田図書館をもって、全区の図書館整備を完了しました。その間、平成3年には中央図書館を移転・新築し、市内各図書施設をオンラインで結ぶネットワークも完成しました。

1区1館構想が完了する前年の平成8年3月に策定した「第3次札幌市長期総合計画 第3次5年計画」において、すでに中央図書館が設置されている中央区に区内2館目となる図書館を整備することが計画されました。この計画に対しては、平成10年に、オフィスの多い中央区の特色に合わせ、利用時間に配慮したビジネスライブラリーを兼ねる「都心にふさわしい図書館」を整備する旨の陳情が採択され、交通の便の良い場所に建設すること、自ら学ぶ市民を支える拠点であること、資料の貸出機能にとどまらず市民の役に立つ図書館となることなどが求められました。

陳情を受け、札幌市も「第4次札幌市長期総合計画 第1次5年計画」（平成12年3月策定）において、中央区に建設する図書館については、都心の開発動向を考慮しながら、各種資料の検索機能の充実や開館時間の延長など、都心にふさわしい機能を備えた図書館として整備することを決めました。

上記陳情及び「第4次札幌市長期総合計画 第1次5年計画」に基づき、中央図書館は、都心にふさわしい図書館について、平成14年1月に策定した「1次札幌市図書館ビジョン」において、図書館を取り巻く情報環境の大きな変化と多様化・高度化する利用者の要求や期待に応えるため、調査研究機能、電子情報提供機能、市民交流機能等をあわせ持ち、各種資料・情報を複合的に提供できる高度な図書館とすることを定め、建設に向け立地条件等の検討を進めました。

また、平成24年1月には、「第2次札幌市図書館ビジョン」（以下、「2次ビジョン」と記載します。）を策定し、都心にふさわしい図書館を、都心に集う様々な人々

¹ 札幌市長期総合計画 札幌市の都市像やまちづくりの大きな方向性を描いた基本構想を市議会の議決で定め、これに基づき、今後20年間の総合的な施策体型や展開方針などを示した計画のこと。

に対して、経済や文化・芸術など、幅広い分野について情報面から積極的に支援するとともに、市民が交流する場とすることとしました。

一方、札幌市は、平成 25 年 10 月に、今後 10 年間の新たなまちづくりの指針となる「まちづくり戦略ビジョン」を策定しました。本ビジョンにおいて、目指すべき将来のまちの姿の 1 つとして「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」という都市像を掲げ、札幌や北海道の魅力資源を、市民一人一人の創造性によって磨き上げ、それを国内外に発信することで、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちの実現を目指すこととしました。

また、本ビジョンでは、創造性に富む市民と、国内外との交流によって生み出された知恵が産業や文化を育み、新しいコト、モノ、情報を絶えず発信していくまち、すなわち「創造都市さっぽろ」を目指すことを謳っています。

立地条件等の検討を進めていた都心にふさわしい図書館は、上記の市民要望や札幌市が目指す将来像を実現するため、札幌創世 1.1.1 区（そうせいさんく）²北 1 条西 1 丁目街区の市街地再開発事業の中で、「（仮称）市民交流複合施設」（3 ページ参照。以下、「市民交流複合施設」と記載します。）を構成する施設の 1 つとして、高機能ホール（以下、「ホール」と記載します。）及びアートセンターと共に整備される運びとなりました。

札幌市が整備する都心にふさわしい図書館は、都心に集う様々な人に対し、札幌の魅力や街の情報を発信し、市民の創造的活動に役立つ情報や交流の場を提供することを目指します。

【都心にふさわしい図書館のイメージ】

- 都心にふさわしい図書館建設に関する陳情：ビジネスライブラリーを兼ねた図書館
- 第 1 次図書館ビジョン：調査研究・市民交流機能等を持つ図書館
- 第 2 次図書館ビジョン：幅広い分野の情報支援と市民交流を行う図書館
- まちづくり戦略ビジョン：「札幌の魅力を発信し、市民の創造性と交流により産業や文化を育むまち」を支える図書館

² 創世 1.1.1 区 大通と創成川通の交差部に位置し、「大通西 1 丁目街区」「北 1 条西 1 丁目街区」「大通東 1 丁目街区」の 3 つの街区を含む地区の名称

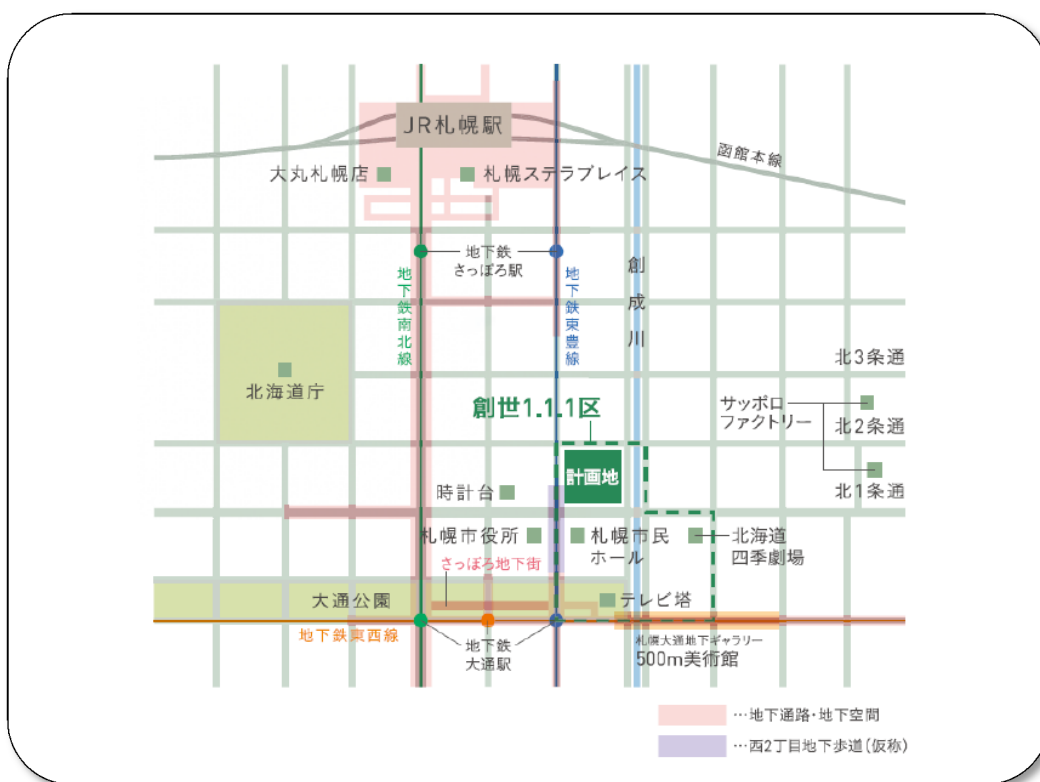
2 都心にふさわしい図書館整備についての検討

(1) 市民交流複合施設整備基本計画の策定

上記の通り、札幌市は、札幌の都心の中でも極めて交通利便性の高い中央区北1条西1丁目に、札幌における多様な文化芸術活動の中心的な拠点であるとともに、多くの人々が交流する場となることを目標とする「市民交流複合施設」を整備することとし、平成25年5月には、施設計画の基本的な事項等を明らかにすることを目的として「市民交流複合施設整備基本計画」を策定しました。

本計画では、市民交流複合施設に「ホール」「アートセンター」「都心にふさわしい図書館」を整備することとし、また、3つの施設は、各々独立したものでなく、利用者のニーズや企画事業に対応して相互に連携し一体的に運営していくことを決めました。

整備基本計画の策定に向け、中央図書館では、下記のとおり都心にふさわしい図書館の検討を行いました。



計画地位置図

(2) 都心にふさわしい図書館の方向性の検討

都心にふさわしい図書館の整備に向けては、札幌市の図書館全体の運営を考慮

するだけでなく、都心の特性やまちづくりの方向性を踏まえながら、あり方や機能を検討する必要がありました。そのため、専門的見地から検討を行うことを目的に、平成24年度に、図書館情報学、ビジネス支援、まちづくり分野の専門家、また、長年に渡り図書館の充実を求めて活動されてきた方などの有識者で構成する「都心にふさわしい図書館を考える懇談会」を新たに設置し、都心にふさわしい図書館の方向性を検討しました。

本懇談会からの意見に加え、学識経験者や公募市民等で構成する図書館協議会³からの意見、教育委員会会議や市議会からの意見、パブリックコメント⁴による市民からの意見をもとに、市民交流複合施設整備基本計画において、都心にふさわしい図書館は下記のとおり整備を進めることを決めました。

【策定経過】

日次	主な検討会議等	検討内容
H24.09.19	第2回図書館協議会	機能検討
H24.09.28	第1回都心にふさわしい図書館を考える懇談会	機能検討
H24.10.09	第2回都心にふさわしい図書館を考える懇談会	機能検討
H24.10.10	教育委員会会議	機能検討
H24.10.23	第3回都心にふさわしい図書館を考える懇談会	機能検討
H24.12.12	第3回図書館協議会	機能検討
H25.01.25	教育委員会会議	(仮称)市民交流複合施設整備基本計画(案)報告
H25.03.27	文教委員会	(仮称)市民交流複合施設整備基本計画(案)報告
H25.04.01 ~4.30	市民意見の募集(パブリックコメント)	
H25.06.14	第4回図書館協議会	機能検討・市民意見の募集結果報告
H25.06.27	教育委員会会議	機能検討・市民意見の募集結果報告

³ **図書館協議会** 図書館法及び札幌市図書館条例に基づき設置され、図書館の運営・サービスなどについて意見を述べる機関

⁴ **パブリックコメント** 条例や計画などの一定の政策の策定に際し、政策の案と資料を公表し、それに対する意見や情報を広く募集し、寄せられた意見等を考慮して政策を決定するとともに、その意見等に対する考え方等を公表すること

(3) 都心にふさわしい図書館の特徴

整備基本計画において、都心にふさわしい図書館は、札幌の魅力が後世や国内外の人たちに伝えられるよう、また、市民の様々な活動が豊かに広がるよう、都心にふさわしい図書館に集う市民を対象に「ビジネスや様々な課題解決に役立つ情報」「札幌の魅力や街の情報」を提供する「都心の知的空間」を創出するものと位置付けられました。

都心は、経済、金融、文化芸術、交通等の中心であり、商業施設、民間企業、官公庁、宿泊施設等が多数立地しています。そこには、ビジネスパーソンをはじめとする多数の市民に加え、市外からは観光や商用を目的として多くの人を訪れます。そのような都心では、仕事や暮らしに関する様々な情報の収集や交換など様々な活動が行われており、都心に集う人々を情報面から支援する場が必要です。

また、札幌の魅力を創出し、高めていくためには、都心が札幌の顔として、その魅力を市内外にたゆまず発信することが求められます。都心において、札幌の魅力や街の情報を積極的に発信することは、情報を求めるビジネスパーソンをはじめ、多数の市民が都心に集うことにつながり、都心の魅力や活力が向上します。

以上のことから、都心にふさわしい図書館は、貸出機能に重点を置いた札幌市の既存の図書施設とは異なる、仕事や暮らしに関する調査相談・情報提供に特化した課題解決に役立つ図書館として整備します。また、都心の魅力を創出するため、札幌の情報を発信する役割を果たすとともに、多彩な閲覧スペースと利便性の高い設備を備え、都心の知的空間にふさわしい環境を整備します。

なお、都心にふさわしい図書館は、仕事や暮らしの課題解決に有用な資料・情報の提供を十分行えるよう、一般的な文学や児童書は所蔵せず、また、利用者がいつ来館しても十分閲覧できるよう、資料については館内での利用を原則とすることを特徴とします。

(4) 都心にふさわしい図書館の役割

上記の特徴に基づき、都心にふさわしい図書館は次の3つの役割と4つの機能を持ちます。

ア 3つの役割

役割① 役立つ情報の提供

都心に集う市民に対して、仕事や暮らしに関する資料・情報を提供します。特に、都心に集うビジネスパーソンを対象として、ビジネスに有用な資料を重点的に提供します。

また、課題解決のための調査研究、調べものなどに集中できる設備・環境を備えた場を提供します。

役割② 札幌の魅力発信

市民が札幌の魅力を再認識し、後世の世代や国内外の人たちに伝えられるように資料・情報を提供するとともに、来訪者が札幌の魅力を知る導入の場とします。また、北海道の中心都市として、その魅力を高め、新たなビジネスが生まれるよう、札幌だけではなく道内の情報も提供します。

役割③ 知的空間

市民・観光客を誘引する賑わいと落ち着きを兼ね備えた魅力的な空間を提供します。

イ 4つの機能

都心にふさわしい図書館は、次の4つの機能を担うことで、様々な取り組みを行い、整備基本計画で位置付けられた3つの役割を果たしていきます。

機能	主な想定される取組み
① 情報収集・閲覧機能	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事や暮らしに関する様々な課題解決に役立つ資料の収集・提供 ●魅力発信に役立つ資料の収集・提供
② 調査相談・支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ●レファレンスサービス⁵ ●レフェラルサービス⁶ ●図書館どうしのネットワークの活用

⁵ レファレンスサービス 何かの情報や資料を求める利用者に対して、情報そのものや必要とされる資料を提示して援助する業務

⁶ レフェラルサービス 利用者が必要とする情報の情報源となりうる人又は機関・組織を知らせる業務

③ 関連機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●関連機関や市民との連携 ●ホール・アートセンターとの連携協議 ●文化芸術関係資料の配架
④ 情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ●札幌の魅力発信 ●セレクトライブラリー ●各種セミナー

3 都心にふさわしい図書館の施設概要

市民交流複合施設整備基本計画を踏まえ、都心にふさわしい図書館の施設概要を下記のとおりとします。

(1) 名称

都心にふさわしい図書館（仮称）

札幌市図書館条例第1条別表に追加する改正を行います。

(2) 設置根拠

図書館法（昭和25年法律第118号。）第10条の規定に基づき設置します。

(3) 計画地

札幌市中央区北1条西1丁目（創世1.1.1区 北1西1地区再開発事業）

市民交流複合施設1階・2階の一部

(4) 構造

鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造

地上28階、地下5階建て、高さ約130m

地下2階で西2丁目地下歩道（仮称）と接続します。

(5) 施設整備（予定）

・整備費

約20億円（都心にふさわしい図書館に係る土地・建物合計）

・整備工程

建設工事 平成 26 年度～平成 29 年度

開設 平成 30 年度

(6) 面積

専有面積：約 1,400 m²

(7) 構成（レイアウト図は資料 1 のとおり）

- 1 階：約 250 m²
（書架・閲覧スペース、展示スペース、貸出返却カウンター）
- 2 階：約 1,150 m²
（書架・閲覧スペース、コワーキングスペース、レファレンスカウンター、ミーティングルーム、携帯電話使用可能ブース、事務室、書庫）

(8) 蔵書数

開設時は 4 万冊（1 階：0.3 万冊、2 階：3.7 万冊）、その後、最大で 6 万冊（1 階：0.5 万冊、2 階：5.5 万冊）程度の蔵書数を想定しています。

詳細な資料整備については、26 ページからの資料整備計画に記載します。

(9) 想定座席数

250 席程度

[内訳]

1 階：30 席程度

2 階：220 席程度（うち周囲と区切った静寂空間 15 席）

※座席数については、書架などのレイアウトの検討を進めるなかで、今後変更となる可能性があります。

第2章 都心にふさわしい図書館における事業展開

1 事業の検討

図書館は、過去から現在に至るあらゆる分野の知識・文化・技術など、知の財産を収集し、組織化することにより、人々の関心に応じ、必要な情報を提供できるように整備されています。

都心にふさわしい図書館は、そのような情報を活かし、市民が人生の様々な段階で抱える課題、例えば、子育て、進学、就職や転職、健康や介護などに関する課題の解決に役立つよう、市民を情報面から支援する課題解決型図書館となることを目指します。

そのため、具体的な事業展開について下記のとおり検討を進めました。

(1) 事業展開についての調査

平成 25 年度には、市民交流複合施設整備基本計画で掲げる都心にふさわしい図書館の役割や機能を踏まえた具体的な事業展開のあり方及び管理運営体制について調査を行いました。調査内容は以下の2項目です。

- ①先行する他都市の類似図書施設におけるサービス内容、実施事業内容、蔵書数、蔵書構成、設備、管理運営体制等
 - ②市民、中央図書館来館者及び市内事業者の都心にふさわしい図書館に対するニーズを把握することを目的としたアンケート調査⁷の実施、集計及び分析
- なお、調査結果については、資料2のとおりです。

【調査結果抜粋（アンケート結果についての考察）】

【仕事を支援するサービス、力を入れて提供して欲しい情報】

- ・ 図書の充実のほか、就業情報コーナーやビジネス支援カウンターの設置、スキルアップセミナーの開催など従来の公共図書館の枠を超えたサービスや活動に対する期待が大きい。〈市民・来館者〉
- ・ 就職情報や起業支援情報を求める意見が多い。〈市民・来館者〉

⁷ アンケート調査 平成 25 年 11 月から 12 月にかけて、市内在住の 16 歳以上の市民 1,200 人、中央図書館来館者 640 人、市内事業所 300 社を対象に、都心にふさわしい図書館のニーズを把握するために実施したアンケート調査

- ・ビジネス関連図書など仕事に役立つ専門的な図書・資料が充実した図書館に対する期待が大きい。
- ・マーケティング情報や政治・経済動向の情報を求める意見が多い。

【くらしや市民活動を支援するサービス、力を入れて提供して欲しい情報】

- ・セミナーの開催のほか、生活関連の図書・資料スペースの充実を望む声が多い。
- ・年代により求める情報が異なる ⇒医療・健康情報（すべての年代）、子育て・教育情報（20～40代）、福祉・介護情報（40代以上）、ボランティア情報、サークル情報（50～60代）

【札幌の魅力発信のためのサービス、提供して欲しい情報】

- ・図書の充実のほか、札幌情報カウンターの設置や札幌関連セミナーの開催を求める意見が多く、図書以外のサービスや活動に対する期待が大きい。
- ・観光情報や公演・イベント情報や歴史・文化情報など、図書館職員の案内が重要な情報やセミナーにより理解を深める情報を求める意見が多い。

(2) 他都市図書館の調査

都心にふさわしい図書館の先行事例となる図書館の調査研究のため、平成 23 年 3 月に大阪市立中央図書館（大阪府大阪市）、大阪府立中之島図書館（大阪府大阪市）、静岡市立御幸町図書館（静岡県静岡市）、千代田区立千代田図書館（東京都千代田区）、アカデミーヒルズ六本木ライブラリー（東京都港区）、仙台メディアテーク（宮城県仙台市）、平成 26 年 3 月に千代田区立日比谷図書文化館（東京都千代田区）、くまもと森都心プラザ（熊本県熊本市）、平成 26 年 6 月に武雄市図書館（佐賀県武雄市）、山口市中央図書館（山口県山口市）を図書館職員が訪問しました。

他都市図書館の調査概要は、資料 3 のとおりです。

【他都市におけるビジネス支援や関連機関との連携】

【ビジネス支援】

○蔵書を活用した調査・研究だけでなく、図書館を仕事や学習の場、企業同士の商談の場として活用可能

- 22 時まで開館し、退社後の仕事や調べものを支援
- 無線 LAN の敷設やフロア内に携帯電話利用可能スペースを整備することにより、ビジネスパーソンの長時間滞在につなげる。
- ビジネスセミナーやデータベース研修会を開催し、利用者の情報リテラシー⁸を支援
- 図書館とビジネス支援専門機関を併設。図書館はビジネス支援に必要な資料を提供し、情報面から支える。

[関連機関との連携]

- 施設内外の関連機関のイベントや企画を紹介し、関連図書を配架する。
- 図書館だけではなく複合施設全体で展示を企画することで、質の高い展示につなげる。

(3) 新しい図書館像の市民との共有

今後の札幌市の図書館のあり方を検討し、その理念や方向性を市民と共有する為、平成 26 年 6 月、中央図書館において、知の拠点化推進事業セミナー「変革する図書館～デジタルネットワーク時代の情報サービス」を開催しました。

在米ジャーナリストの菅谷明子氏による基調講演「デジタル化による情報革命と図書館の役割—米国の最新報告」においては、アメリカの公共図書館の先進的な課題解決の取組みが多数紹介されました。

また、ビジネス支援図書館推進協議会⁹理事の豊田恭子氏をコーディネーターとして、菅谷明子氏、大串夏身氏（昭和女子大学特任教授）、林下英二氏（北海道デジタル出版推進協会代表理事）及び上田文雄札幌市長が行ったパネルディスカッション「変革する図書館～デジタルネットワーク時代の情報サービス」においては、デジタル化の波と図書館の関係が様々な角度から検討され、都心にふさわしい図書館を含む、図書館の未来像に関する情報共有が進みました。

⁸ **情報リテラシー** 大量の情報の中から必要なものを探し出し、自己の目的に合わせて使用できる能力

⁹ **ビジネス支援図書館推進協議会** 図書館の持つ情報蓄積をベースに、Web やデータベース等を装備して IT 化を図り、これを運用する司書を養成して、図書館に創業とビジネスを支援する機能を付加したビジネス支援図書館が全国に生まれることを支援することを目的として設立された組織

(4) 講演会への参加

ビジネス支援図書館推進協議会が主催し、アメリカ、イギリス、シンガポールなど海外の公共図書館におけるビジネス支援の活動内容、それを支える人材、経営面などの紹介が行われる「海外ビジネス支援サービス調査研究報告会」（東京）が、平成26年7月に開催され、中央図書館から2名の職員が参加しました。

海外の公共図書館が先行して実施しているビジネス支援の実践的な事例についての報告は、都心にふさわしい図書館が市民の課題解決や経済の活性化に資する取り組みを検討する上で大変参考になるものでした。

また、講演会を通じて、全国の公共図書館職員やビジネス支援の研究者・普及に関わる専門家との交流が生まれました。平成26年10月には、ビジネス支援を積極的に取り組んでいる鳥取県立図書館の職員を中央図書館に講師として招き、職員を対象とした研修を実施することができました。

(5) 都心にふさわしい図書館を考える懇談会の開催

平成24年度に設置した都心にふさわしい図書館を考える懇談会を、平成26年度にも開催し、8月から10月まで3回にわたり事業内容の検討を行いました。

さまざまな事業への市民参加の検討、ホール・アートセンターをはじめとする他機関との連携、課題解決型図書館として必要となる職員の研修など、都心にふさわしい図書館が今後行うべき取り組みについて、有識者それぞれの立場から意見が出されました。

2 課題解決型図書館に求められる主要な機能と条件

(1) 都心にふさわしい図書館の主要となる機能

公共図書館の機能は、「資料の収集・整理・保存機能」「資料の閲覧・貸出機能」「調査相談・情報支援機能」「普及機能」の4つがあります。

その4つの機能のうち、課題解決型図書館として最も重視され強化すべき主要となる機能は、「調査相談・情報支援機能」です。

調査相談・情報支援機能は、以下の3つの構成機能から成ります。

ア 調査相談機能（レファレンスサービス）

利用者の調査・研究・問題解決に関する相談に応じ、必要な資料や情報を効

率よく探すことができるよう援助します。

インターネットによるピンポイントの検索とは異なり、司書が情報編集力を活かし、過去の資料や関連資料も検索し、利用者の必要な情報を提供します。

さらに、館内の情報系端末の使用方法や利用者の要望に適したセミナーの案内、さらには資料の入手方法の案内など、幅広いサービスを行います。

調査相談機能の具体的な内容は、以下の通りです。

○仕事やくらしをはじめとする様々な課題に関するレファレンスサービス

(図書館の資料・情報を活用した調査・相談)

○資料検索・インターネット検索・データベース検索の操作サポート

○セミナーの案内・受付

○資料の入手方法の案内

例

[例1] 「女性向けの不動産会社を始めたい」という起業の相談

基礎知識を得るために不動産会社の作り方がわかる資料を紹介し、ニーズ調査のために市場動向の調査書や統計類を紹介します。さらにデータベース等のマーケティング情報を活用するほか、不動産関係の専門雑誌や業界新聞も紹介します。

[例2] 「莖つきブロッコリーのブランド化を図りたい」というブランディングの相談

基礎知識を得るために農業ブランドの作り方がわかる資料を紹介し、データベースや雑誌、紀要類等を調べて先進的取り組み事例を紹介します。また、イメージ化のために郷土資料を参考に、地域の歴史や風俗を調べます。

[例3] 「土地を購入するので、藻岩下の災害の変遷と地盤についての資料が見たい」という相談

過去の災害に関しては、データベースを用い、新聞や雑誌への掲載を確認します。また、地盤に関しては、活断層図や札幌の地盤図に加えて、過去の住宅地図も提供します。そのほか、地域の歴史がわかる資料や防災に関する行政資料も併せて提供します。

イ 関連機関・相談窓口の案内機能（レフェラルサービス）

所蔵資料・情報では解決されない課題については、専門的な情報を持つ関連機関や申請窓口の紹介・連絡を行います。単に情報を調べる場所ではなく、利用者が次のステップに進むための入口となります。

そのため、都心にふさわしい図書館は、普段から連携機関とのネットワークを構築し、利用者それぞれの課題に応じた的確に対応します。

ウ 図書館どうしのネットワークを生かした資料提供機能

市民の情報要求が多様化・高度化する中、どの図書館も自館の資料や情報だけではすべての要求に対応できなくなっています。

そこで、国立国会図書館や全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館¹⁰などさまざまな機関の間では、資料や情報を相互に利用することにより情報提供機能を向上させています。

都心にふさわしい図書館においても、この図書館間の相互協力関係を積極的に活用した情報提供を行います。

札幌市の図書館が所蔵していない資料については、全国の図書館の中から探し出し、その資料を提供します。また、特殊・専門的な調査についてはその専門機関の図書室・調査室等と連携し関連資料の案内をするなど、相互協力関係を持つ図書館だからこそ可能な資料・情報の収集と提供を行います。

(2) 調査相談・情報支援機能を発揮するために必要な条件

以上の主要となる機能を充実・強化し、都心にふさわしい図書館の役割（「役立つ情報の提供」「札幌の魅力発信」「知的空間」）の実効性を高めるために必要となる条件は、次のとおりです。

条件① 豊富な情報

○ビジネスをはじめとする多様な課題解決に役立つよう、専門性の高い資料・情報を積極的に収集

¹⁰ 専門図書館 特定分野の情報について、公的文書、新聞、雑誌、図書などを収集管理し、その研究機関、企業、団体内の専門家や、学術情報に関わる会員が利用することのできる図書館

- ビジネスパーソンが最新の情報を入手できるよう、速報性の高い新聞や雑誌を豊富に収集
- 新聞・雑誌記事、法令・判例、会社情報、学術論文等の検索に有用なオンラインデータベース¹¹を多数導入
- 中央図書館をはじめとする札幌市の図書館が長年にわたり収集・保存を行ってきた資料の活用
- 国立国会図書館・全国の公立図書館・大学図書館等との図書館独自のネットワークを活用した資料の提供

条件② 関連機関との連携

- 経済局をはじめとする経済関連機関と連携し、ビジネスパーソンやビジネスの活性化を情報面から支援
- 各種関連機関と連携し、市民のくらしの課題解決に役立つ様々な情報を提供
- 観光文化局をはじめとする観光関連機関と連携し、観光客や市民に札幌の魅力を発信
- ホールやアートセンターと連携し、複合施設として一体的に事業を展開

条件③ 司書の専門能力

- 資料から得られる膨大な情報を分析、評価し、必要な情報を探し出す情報検索力
- 資料・情報の目録化やデータベースの作成など、利用者が使いやすい形に編集する情報編集力
- 利用者の目的を的確に理解し、課題解決へ導く対話力
- 関連機関と協力・連携して事業に取り組むことができる連携力

3 具体的な事業内容

都心にふさわしい図書館は、3つの役割（「役立つ情報の提供」「札幌の魅力発信」「知的空間」）を効果的に果たすため、さまざまな取り組みを行います。

また、事業を行う際には、〈市民〉や〈来館者〉、〈市内事業者〉へのアンケート調査

¹¹ オンラインデータベース ネットワーク経由で、有料で提供されるデータベースのこと。

結果において、要望の高かった項目を重点的に取り組みます。

(1) 仕事や暮らしに関する情報提供

都心にふさわしい図書館は、都心に集うビジネスパーソンを支える事業を重点的に行います。都心で働く方はもちろん、起業・創業を志す方、就職・転職を考えている方、中小企業経営者や個人商店の事業主、在宅勤務の方、出張等で札幌を訪れている方などにも、仕事に有用な様々な資料を提供するとともに、展示やセミナー・講演会などを通じ、仕事や調べものに役立つ実践的な情報を提供します。

また、都心にふさわしい図書館が情報の入口として、各種専門機関や行政機関、市外の公共図書館等を結ぶことにより、利用者の仕事に必要な資料・情報を提供し、札幌市のビジネスの活性化に寄与します。

都心は、ビジネスパーソン以外にも、たくさんの市民が集まる場でもあります。そのため、都心にふさわしい図書館は、市民が抱える日常の課題の解決に役立つ情報やサービスも提供します。

ア 資料の提供

(ア) 仕事に関する資料

アンケートにおいて、仕事に役立つ情報として提供の要望が高かった項目は、下記のとおりです。

① 起業情報

〈市民〉を対象としたアンケートにおいて、「ビジネスパーソンを支援するために、この図書館で特に力を入れて提供して欲しい情報」に、「起業支援情報」を選択した人は、自営業者、契約社員、パートタイマーの人々に多くありました。

起業・創業は、いろいろな立場の人がそれぞれプランを描きます。図書館は、その実現に向けて資料・情報の提供を行い支援します。

まず、事業を立ち上げに関する入門書や参考となる体験記などを揃えます。そして、これらを「市場調査」「事業計画」「事業開始に伴う各種届出」などのステップごとに配架するなど、初心者にもわかりやすい情報提供を行います。

さらに、経営者等の個人伝記、特許、経営論、財務知識、開業の基礎な

ども含め、幅広い分野の資料・情報も提供します。

② 企業・業界情報

「ビジネスパーソンを支援するために特に力を入れて提供して欲しい情報」についてのアンケートでは、〈市民〉と〈来館者〉の多くが「就職情報」を選択し、〈事業所〉では「業界情報」を選択した人が最多でした。

就職を考えている学生、転職の準備をしたいビジネスパーソン、これから働きたい主婦、退職後の働き方を検討している人など、それぞれに必要な情報があります。

そのため、都心にふさわしい図書館は、対象者の求めに応じ、企業情報や経済動向、最新時事などについて、データベースから得られる情報を含め、実践的な資料・情報を提供します。

③ 資格取得・スキルアップ情報

アンケートにおいて、「ビジネスパーソンを支援するために、この図書館で特に力を入れて提供して欲しい資料・情報」として、「資格取得・スキルアップ情報」を選択した人は、〈市民×来館者×事業所〉のいずれにおいても多くありました。

資格取得やスキルアップのための参考書や問題集、各種資格試験情報、講座案内などの提供が図書館に求められています。都心にふさわしい図書館では、参考書や問題集を電子書籍で提供することを検討します。

また、あわせてビジネスマナー、職場でのコミュニケーション・スキル、ビジネス文書作成技術、情報整理技術、インターネットを活用した情報検索技術等に関する資料も充実します。

④ ビジネス一般情報

上記①から③までの主要な情報のほか、白書類、会社録、統計、財政、年報、法律（各種六法、逐条解説など）、技術情報、製品情報、各種調査報告についても、ビジネス全般に関わる情報であることから継続的に収集します。

また、実務書として、経済、経営、商品、マーケット情報、人事、労務（例：コンプライアンス関係の資料、就業規則の作り方）、契約、規程、書式（例：定款の書き方、契約書のひな形）なども豊富に取り揃え、ビジネスに役立つ最新情報を提供します。

（イ） くらしに関する資料

日々のくらしの中で市民が抱えている課題や問題の解決に役立つ情報を提供します。

また、外国からの留学生や研究者、市外からの単身赴任者など札幌を拠点として活動する方々にも、日常生活に役立つ情報を提供し、札幌市への愛着を深めてもらい、長期滞在の方々が暮らしやすいと感じる環境づくりを行います。

さらに、日中忙しいビジネスパーソンにとっても、都心にふさわしい図書館が、医療・健康情報をはじめとするくらしに役立つ資料や情報を提供することは、昼休みや夜間に立ち寄って調べられるという点でも大いに役立つものと考えます。

都心に集う様々な方のくらしに役立つ資料・情報を提供するには、社会の動きや利用者のニーズを見据えることが必要です。

そのため、くらしに役立つ情報についても、〈市民〉と〈来館者〉を対象としたアンケートにおいて要望が高かった項目を重点的に支援していきます。

① 医療・健康情報、福祉・介護情報

自分自身や家族の病気、親の介護といった課題を抱えるビジネスパーソンに役立つ情報として、検査結果の見方、予防医学、生活習慣病、メタボリック症候群、メンタルヘルスに関する医療・健康情報、福祉・介護に関する基本情報や行政資料を提供します。

また、〈市民全般〉及び〈来館者〉を対象としたアンケートにおいて、「日常の課題解決などを支援するためにこの図書館で力を入れて提供して欲しい情報」の1位が「医療・健康に役立つ情報」、2位が「福祉・介護に役立つ情報」であったことから、市民の多くは自分自身や家族の病気や老後の生活、介護といった問題に不安を感じていることが読み取れます。

札幌市においても少子高齢化はますます進み、平成27年には市民の約4人に1人、平成42年には約3人に1人が65歳以上の高齢者になると予想されています。そのため、広く市民に役立つ情報として、健康寿命¹²の維持に役立つ情報や疾病・薬・医療施設・医師・介護等に関する情報、現在受けられる公的支援についての情報の提供も充実させます。

② 子育て・教育情報

仕事と子育ての両立や子育て後の復職、また、いじめや不登校などの教育問題など、働く人と働く人を支える家族の課題解決に役立つ資料・情報を提供します。

〈市民〉および〈来館者〉を対象としたアンケートにおいて、「日常の課題解決などを支援するためにこの図書館で力を入れて提供して欲しい情報」の3位が「子育て・教育情報」でした。「子育て・教育情報」は、市の関連機関と協力して、保護者が必要とする資料・情報を収集し、提供します。

③ 法律情報

市民が課題解決を図る過程においては、法律問題の解決が必要となるケースもあります。そのため、法律解説や判例に関する資料も多く揃えます。

雇用問題やパワーハラスメントなど、働く人が抱える特有の問題の解決に役立ち、身分・立場を守るために必要な法律情報を多数提供するとともに、労務管理、労働安全衛生など雇用側が必要とする情報も提供します。

また、広く市民へ向けた情報として、債務、相続・遺言、離婚などに関する法律情報も提供します。

④ 行政情報

上記の医療・健康、福祉・介護、子育て・教育をはじめ、防災やまちづくり、税、ごみ、環境、経済、文化芸術など、行政の施策に関する情報は市民のくらしに密接に関係しています。

そのため、都心にふさわしい図書館では、時事や市民ニーズを考慮した

¹² 健康寿命 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。

テーマに応じ、行政資料（官報・統計書・報告書・行政計画・広報誌など）を横断的に展示し、市民が行政情報を得るための入口の役割を果たします。

⑤ 文化芸術情報

美術年鑑や国内外の文化芸術に関する作品集、利用者の創作活動に役立つ資料を配架するほか、ホールやアートセンターがイベント等を実施する際には、関連資料を収集・展示し、利用者の関心に応えます。このことにより、複合施設の一体性を確保し、複合施設全体の魅力を高めます。

イ 情報ガイドの作成

利用者が求める情報を効率的に得ることができるよう、仕事やくらしの情報提供に必要な資料・情報を収集、整理・編集し、「統計情報の探し方」「市場・業界情報の調べ方」「企業・団体の情報の探し方」など想定される課題に対応した情報ガイド（パスファインダー¹³等）を作成します。

情報ガイドは館内から自由に持ち帰ることができるようにし、また、インターネット上でも提供します。

ウ 各種専門機関と連携した相談窓口

利用者の課題に対し、より直接的な回答ができるよう、各種専門機関の相談員等が、起業・経営などについての相談に応じます。図書館は、相談の際に必要な資料・情報を提供し、効果的な課題解決を支援します。

多くの市民が気軽に利用する図書館において、専門機関の支援メニューをわかりやすく掲示することは、市民への有効な周知方法となります。

エ 各種支援セミナーの開催

〈市民〉と〈来館者〉を対象としたアンケートでは、「ビジネスパーソンを支援するために、特に力を入れて欲しいサービス」、「日常の課題解決や市民の様々な活動を支援するために、特に力を入れて欲しいサービス」について、セミナー

¹³ パスファインダー 特定のテーマ（主題）に関する資料や情報を収集するための手順を簡単にまとめたもの。探している資料を図書館で効率的に見つけることができるツール。

の開催を求める回答が上位に挙がりました。そのことを踏まえ、都心にふさわしい図書館は、アートセンターのオープンスタジオやワークスタジオ等において、様々なセミナーを開催します。

(ア) 情報、データベース活用セミナー

利用者が様々な情報を効率的に入手することを支援する「情報リテラシー講座」、図書館で利用できる新聞・雑誌記事、法令・判例、会社情報、学術論文、人物情報、商圈情報などの各種データベースの活用方法を紹介する「データベース活用セミナー」を企画・開催し、ビジネスパーソンを支援します。

(イ) 共催セミナー

専門機関と連携し、仕事とくらしに役立つセミナーを開催します。

起業、経営、スキルアップなど、ビジネスパーソンを支援するセミナーや、家族の看護・介護、予防医学、先端医療、シニアライフの過ごし方（介護・住まい、後見制度、相続）など市民の日常の課題解決に役立つセミナーを開催します。

図書館は、専門家のアドバイスも受けながら厳選した資料を整備し、セミナーの効果を高めるためのフォローアップサービスとして、受講後の利用者に関連資料や情報を提供するとともに、カウンターにおいてセミナー参加者からの問い合わせや相談に対応します。

このことにより、今までの一方向のセミナーよりも参加者の理解が深まることとなり、一層の効果が期待されます。

(2) 札幌の魅力発信

都心は、道都・札幌の中心であり、道内外、さらには国外からも多くの人が集い、活動する場です。そのため、市民や来訪者が、札幌の魅力を端的に理解でき、都市の生活の魅力を最もよく享受できる場であることが期待されます。

市民にとっては札幌の魅力を再認識でき、また、来訪者にとっては充実した滞在となる事業を行い、市民交流複合施設整備基本計画における「札幌の魅力発信」の役割を果たします。

アンケート結果において、「札幌の魅力を発信するために、この図書館で特に力を入れてほしい情報」の上位3種は、〈市民〉と〈来館者〉のどちらも「観光情報」「公演・展覧会・イベント情報」「歴史・文化情報」でした。

都心にふさわしい図書館では、そのうち、図書館の豊富な情報や司書の専門的な能力の活用を一層効果的に行うことができる「歴史・文化」を中心に情報提供を行います。

ア 札幌についての理解を深めるための資料・情報提供

札幌市の図書館が所蔵する資料・情報のデジタル化を進め、札幌に関する様々な活字資料や写真、地図、映像、音声などの情報を蓄積したデジタルアーカイブを中長期にわたって構築します。

このデジタルアーカイブは、札幌を様々な側面から知ることができる地域資料データベースとして、館内での検索・閲覧だけでなく、インターネットでも公開し、札幌についての理解をより深め、新たな札幌の魅力の創出につながる活動を支援します。

また、教育の場で活用できる仕組みを整え、小中学校での「調べ学習¹⁴」での利用及びこれをきっかけとした図書館の利用促進につなげます。

さらに、設定したテーマについて編集したアーカイブ資料に説明を加えて公開し、館内の展示と併せて札幌の魅力を発信します。

なお、この事業については、市民に対して資料の提供や編集作業への参加を呼びかけ、市民とともにデジタルアーカイブを作り上げることができるよう、仕組みづくりを検討します。

イ 地域に関する展示

1階に映像装置を備えた展示スペースを設置し、テーマ（文化芸術、歴史、自然、スポーツ、まつり等）を定め、広く市民や来訪者に対し、札幌の過去・現在・未来の魅力を伝えます。

展示に際しては、デジタルアーカイブをはじめ図書館が持つ様々な資料・情報、関連機関や複合施設内にあるホールやアートセンター等との連携の中で得

¹⁴ 調べ学習 知りたいことや興味を持っていることについて、図書等の資料や実地見学、実験・観察など、いろいろな方法で調べたことをまとめ、発表すること。

た資料・情報なども活用します。

また、アートセンターにおいて、観光情報の提供を行うことから、図書館とアートセンターが連携し、観光情報に関する歴史や背景などがわかる情報を展示し、新たな角度からとらえた札幌の魅力を紹介します。

なお、展示を行う際には、北海道の中心都市として、札幌だけではなく、北海道内の情報も提供します。

例

ビール園の観光案内にあわせ、明治時代、東京に設置予定だったビール醸造所を札幌に設置するべく活動した「村橋久成」氏の物語や札幌の開拓に寄与した外国人たちの物語、エピソードなどを紹介し、名所や食の案内だけに終わらない情報提供を行います。

(3) 知的空間の創出

創世 1.1.1 区は創成川に面し、水と緑という自然と都心のにぎわいを同時に感じることができる恵まれた立地であり、そこに整備される市民交流複合施設の 1 階及び 2 階の一部が都心にふさわしい図書館となります。

利用者がゆっくり滞在し、落ち着いて調べものや資料の閲覧を行うことができるよう、アートセンターと連携し、イベント等を開催していないときには、1 階のオープンスタジオを閲覧スペースとして利用するなど、十分な閲覧スペースを確保します。

また、館内には、飲み物を持ち込むことができ、加えて、1 階のカフェには、都心にふさわしい図書館が所蔵する図書や雑誌などを持ち込むこともできます。

2 階には、周囲と仕切られ、静かな環境で読書や調べものなどができる閲覧席を設置します。さらに、複数の利用者が調べものや仕事を共同で行うことができ、コミュニケーションの場、市民の創造的活動の場ともなるコワーキングスペース¹⁵も設置し、利用者の交流から生まれる新たな創造的活動を促します。

そのほかに、図書館利用者を支える設備として、館内には、無線 LAN 環境、

¹⁵ コワーキングスペース コワーキングとは、複数の人が事務スペースや会議室などを共有しながら、それぞれ独立した仕事を行う形態のこと。コワーキングスペースは、そのオフィス空間を指す。

電源、プリンター、利用者用コピー機、ロッカー（月極め個人契約を含む。）、ミーティングルーム、携帯電話使用可能ブースを整えます。

図書館全体に創造性を湧き立たせるための資料や課題解決を支えるための資料、利用者に役立つ設備を備えることにより、ひとりひとりが、自らの考えをまとめ、発信し、そして、利用者の様々な活動が豊かに広がる知的空間を創出します。

(4) 関連機関等との連携

ア 各種専門機関と連携した相談窓口【再掲】

利用者の課題に対し、より直接的な回答ができるよう、各種専門機関の相談員等が、予約制などにより、起業・経営などについての相談に応じます。図書館は、相談の際に必要な資料・情報を提供し、課題解決を支援します。

多くの市民が気軽に利用する図書館において、専門機関の支援メニューをわかりやすく掲示することは、市民への有効な周知方法となります。

イ 共催セミナー【再掲】

専門機関と連携し、仕事とくらしに役立つセミナーを開催します。

起業、経営、スキルアップなど、ビジネスパーソンを支援するセミナーや、家族の看護・介護、予防医学、先端医療、シニアライフの過ごし方（介護・住まい、後見制度、相続）など市民の日常の課題解決に役立つセミナーを開催します。

図書館は、専門家のアドバイスも受けながら厳選した資料を整備し、セミナーの効果を高めるためのフォローアップサービスとして、受講後の利用者に関連資料や情報を提供するとともに、カウンターにおいてセミナー参加者からの問い合わせや相談に対応します。

このことにより、今までの一方向のセミナーよりも参加者の理解が深まることとなり、一層の効果が期待されます。

ウ 市民との連携

都心にふさわしい図書館では、ボランティアを募集するなどし、市民に事業への参加を呼びかけます。

デジタルアーカイブ（22ページ）に関する資料提供や編集作業、また、様々なセミナーにおける講師など、都心にふさわしい図書館において、市民の持つ貴重な資料や能力が活かされるよう、市民参加の方法について検討を進めます。

エ ホール・アートセンターとの連携

文化芸術資料・情報を配架するコーナーを設け、ホールやアートセンターとの連携により文化芸術に関する資料・情報を提供します。ホールやアートセンターでの公演やイベントに際しては、鑑賞者の関心に応えるため、関連する演目情報、アーティスト情報、作品情報などの図書や雑誌・新聞記事等をテーマ展示することで、交流複合施設のメリットを生かした一体的なサービスを提供します。

また、アートセンター内に図書館が所蔵する文化芸術資料を配架・展示することにより、相互の魅力を高めあい、魅力的な芸術的雰囲気を感じることができる空間とします。

4 中央図書館との役割分担

都心にふさわしい図書館は、都心に集うビジネスパーソンや来訪者、情報を求める市民等のために、新鮮な資料・情報を提供する役割、また、札幌の魅力を国内外や後世の人々に伝える役割を持ちます。

一方、中央図書館は、市内図書施設の中心施設として、一般書をはじめ、新聞、雑誌、参考資料、郷土資料など各図書施設で収集した資料を保存する役割を担っており、過去の資料を多数保存しています。このため、中央図書館は、豊富な蔵書を背景に、幅広い分野にわたり、過去の事業や経緯まで遡った調べものを行うことが可能です。

都心にふさわしい図書館は、都心に集う人々のために特色のある資料構成とすることから、必要に応じて中央図書館の豊富な資料・情報も取り寄せ、利用者に提供します。

こうした役割分担と中央図書館のバックアップにより、都心にふさわしい図書館と中央図書館は一体的に機能し、札幌市全体として充実した図書館サービスを行うことが可能となります。

第3章 資料整備計画

1 図書

蔵書規模を6万冊と想定し、中央図書館の郷土資料及び参考資料の蔵書構成と年間の出版点数を参考に、札幌の魅力発信に役立つ図書と、仕事や暮らしに役立つ情報の提供に必要な図書を中心に収集します。

札幌の魅力発信に役立つ図書は、文化芸術や歴史、自然などのテーマを重点的に、札幌で出版されたものや行政資料をはじめ、札幌を知る上で参考になる図書を充実させます。

仕事や暮らしに役立つ情報の提供に必要な図書は、利用対象者と分野が多岐に渡るため、幅広く収集します。特に発行点数が多い社会科学（政治・法律・経済・統計・社会問題等）や技術・産業を重点的に、入門的なものから専門的なものまでバランスよく収集します。

より詳細な蔵書構成は、資料4のとおりですが、資料の収集にあたっては、関連機関とも協議を行うほか、札幌市の産業構造なども考慮し、効果的な資料・情報提供を行うことができるよう、今後も検討を進めていきます。

2 新聞

主要全国紙、地方紙、業界紙、外国語紙を90紙程度収集します。

現在、中央図書館では70紙以上の新聞を収集していますが、特に業界紙は各分野の動向を知る上でビジネスに有用であるため、都心にふさわしい図書館では多くの収集を目指します。

また、新聞については、データベースによる提供も行います。

なお、バックナンバーは、期間を定めて配架することとし、保存は中央図書館が行います。

3 雑誌

雑誌は最新の情報を得られる媒体であるため、各分野からバランスを考慮し、都心にふさわしい図書館の事業内容に沿って収集することとし、札幌の魅力発信に役立つタウン誌や市内各団体の刊行物も収集に努めます。また、電子書籍での提供も

検討します。

ビジネスパーソンを対象とした他都市の図書館では、400～600種の雑誌を収集していますので、都心にふさわしい図書館においてもビジネスパーソンをはじめとする利用者の仕事とくらしに必要な情報を提供することを目的とし、600種の収集を目指します。

なお、バックナンバーにつきましては、新聞同様、期間を定めて配架することとし、保存は中央図書館が行います。

※他都市図書館雑誌タイトル数：千代田区立日比谷図書文化館 634(千代田区立図書館年報 平成 25 年度)。鳥取県立図書館 460(鳥取県立図書館のすがた 平成 25 年度)。武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館武蔵野プレイス 600(ホームページ)。

4 電子書籍及びデジタルコンテンツ

(1) 仕事やくらしの情報サービスのための電子書籍等

- 起業・経営等に役立つビジネス関連の電子書籍
- 資格取得・スキルアップのための参考書・問題集などの電子書籍
- 医療・健康・介護・子育てなどに役立つ生活関連の電子書籍
- 職場での研修に使えるビジネスマナー・マネジメントなどの教材コンテンツ
- 図書館で開催されたセミナー等の録画コンテンツ

(2) 札幌の魅力発信のための電子書籍等

- 札幌についての理解を深めるための電子書籍
(地元出版社・団体が出版・発行したものを中心)
- 図書館所蔵資料を資源とする、札幌の魅力を伝えるデジタルアーカイブ
- 札幌の魅力をモチーフとした「さっぽろデジタル絵本」

5 視聴覚資料

札幌の魅力を知るために役立つもの、また、ホールやアートセンターと連携し、文化芸術に関する視聴覚資料を提供します。

6 データベース

膨大な情報量を過去にさかのぼり網羅的に検索できるデータベースは、忙しいビジネスパーソンに必要不可欠なものです。個人で契約するには高額なデータベースを公共図書館が契約し、利用者に提供することは、中小企業や、フリーランスの方々の強力なサポートにもなります。

国内でビジネス支援に力を入れる図書館の多くが、10種を超えたデータベースを提供している状況の中、今後ニーズも増えることが予測されるため、蔵書冊数も限られている都心にふさわしい図書館では、より効率的に情報を提供できるよう、データベースを数多く揃えます。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ○全国紙の記事検索データベース | ○地方紙の記事検索データベース |
| ○雑誌記事検索データベース | ○官報情報検索データベース |
| ○辞書・事典・人物情報データベース | ○法令・判例検索データベース |
| ○科学技術文献情報データベース | ○国内学術論文データベース |
| ○農業と職の情報データベース | ○ビジネス情報データベース |
| ○企業情報検索データベース | ○市場情報評価データベース 他 |

7 各種情報紹介機能を重視したホームページ

都心にふさわしい図書館から発信される情報を見つけやすく、わかりやすくするため、案内役としてのハブ機能を持ったホームページを持ちます。

- 仕事・暮らしに役立つ情報ガイド（図書館作成）
- 札幌の魅力を知るための情報ガイド（図書館作成）
- 札幌市各部局の公開資料や地域情報へのハブ機能

第4章 管理・運営

1 開館日・開館時間

ホールやアートセンター、他都市の図書館の開館日や開館時間を参考にしながら、調整・検討を進めます。

2 運営体制

主要なサービスの一つとなるレファレンスサービスは、長年に渡る資料収集と市民からの多数の調査相談事例の蓄積を基礎として構築されるものです。

質の高いレファレンスを維持するためには、統一的な方針に基づいて継続的に資料・情報が収集・保存される必要があり、それらの情報を的確に編集し、多様なレファレンスに対応しなければなりません。

また、都心にふさわしい図書館が所蔵していない資料を必要とするレファレンスの場合には、中央図書館はもちろん、国立国会図書館をはじめとする各関係機関との連携が欠かせません。

中央図書館では平成14年度からビジネス支援をスタートさせ、パスファインダー（調査の手引き）の作成、参考図書の実、インターネット閲覧パソコンの提供、オンラインデータベースの導入、電源とネットワーク付個人席の新設などを行ってきました。これらのサービスは、現在も多くの需要があるため、さらに利用スペースの拡大が必要ですが、建物の面積上困難な状態にあるため、中央図書館以外で事業展開を行わなければなりません。

さらに中央図書館は札幌市中心地から公共交通機関で往復約1時間かかる場所にあるため、時間を重んじるビジネスパーソンからは中心地への機能移転を求める声も多くありました。

そのため、図書館のサービスアップを図るうえでは、都心において、中央図書館との資料・情報面、サービス面での一体性を確保し、さらに、これまでのレファレンスの経験やノウハウを着実に引き継ぐこと、また、中央図書館では今まで行えなかったメニューも含め、ビジネス支援を拡大することが不可欠です。

さらに、札幌についての理解を深めるためのデジタルアーカイブの構築には、札

幌市の図書館が長年収集・保存してきた資料・情報と、研究者等関係者との継続的な連携・協力関係が必要です。

以上のことから、都心にふさわしい図書館の運営は、専門性の蓄積や安定した運営、継続的な連携関係を構築するため、中央図書館と一体化した直営を考えますが、一方、コスト面からの効率性も考慮しながら、一部の定型的業務についての委託や機械化も検討します。

参考資料

2階：仕事とくらしの支援

アートセンター

都心にふさわしい図書館

●閲覧席（静寂空間）

周囲と区切り、静かな空間で仕事や読書ができる。

静寂

●書架・閲覧スペース

・仕事とくらしの課題解決に役立つ資料

アートセンター （プロジェクトルーム）

プロジェクトルームを借りて
セミナー等開催

アートセンター （事務室）

事務室

ライブラリーオフィス

●レファレンスカウンター

・仕事やくらしに関するレファレンス
・資料案内

アートセンター （ワークスタジオ）

スタジオを借りて
セミナー等開催

階段

●ミーティングルーム

予約もできる少人数用打合せスペース

賑わい

館内の奥へ進むに従い
静かな空間に

BDS

●コワーキングスペース

少人数～グループ利用を想定した交流スペース。

資料2 アンケート調査結果及び民間業者からの提案内容

1 アンケート調査結果概要

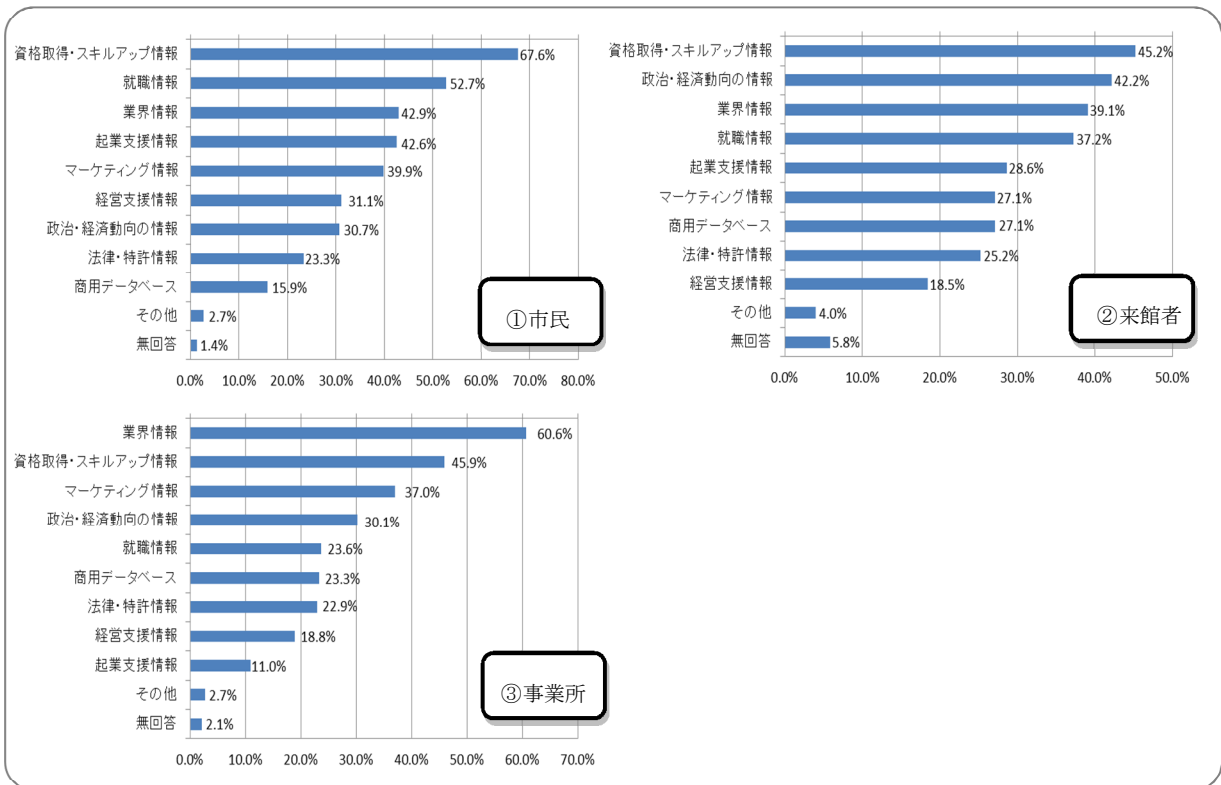
平成25年度に、市民、中央図書館来館者及び市内事業所の都心にふさわしい図書館に対するニーズを把握することを目的としたアンケート調査を実施しました。

【ビジネス支援】

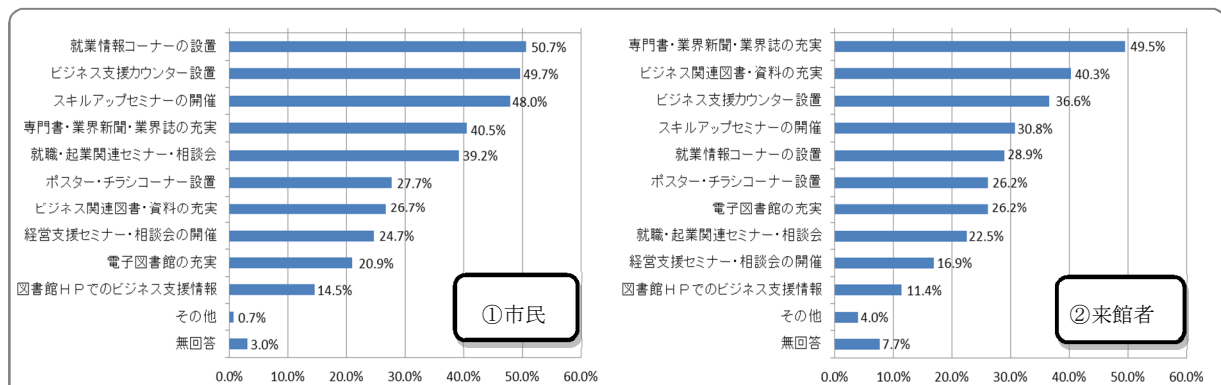
○ビジネスパーソンを支援するために特に力を入れて提供して欲しい情報として、「資格取得・スキルアップ情報」「業界情報」が多く回答されました。

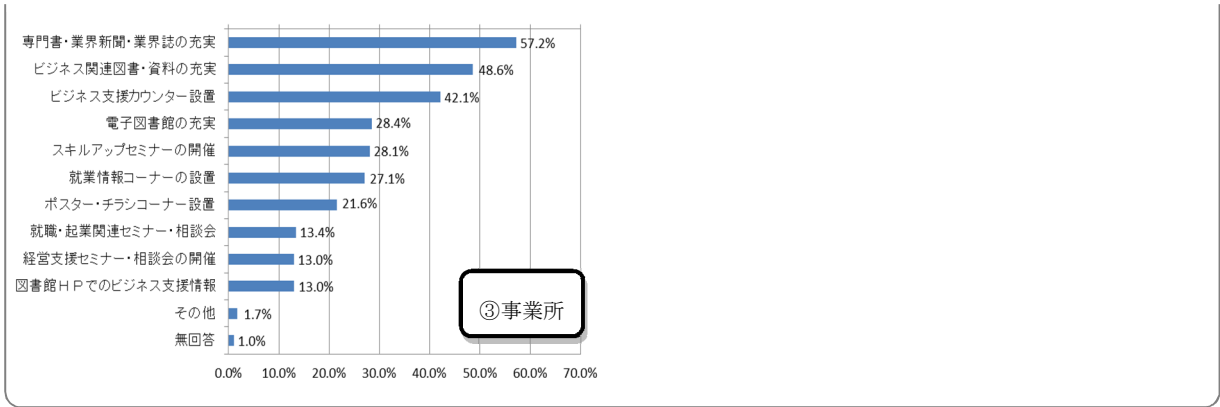
調査対象：

- ①無作為抽出した16歳以上の市民1,200人へのアンケート郵送
＜回収数296票＞
- ②中央図書館来館者640人へのアンケート配布
＜回収数325票＞
- ③市内事業所251社へのアンケート郵送・直接配付
＜回収数292票、68社＞



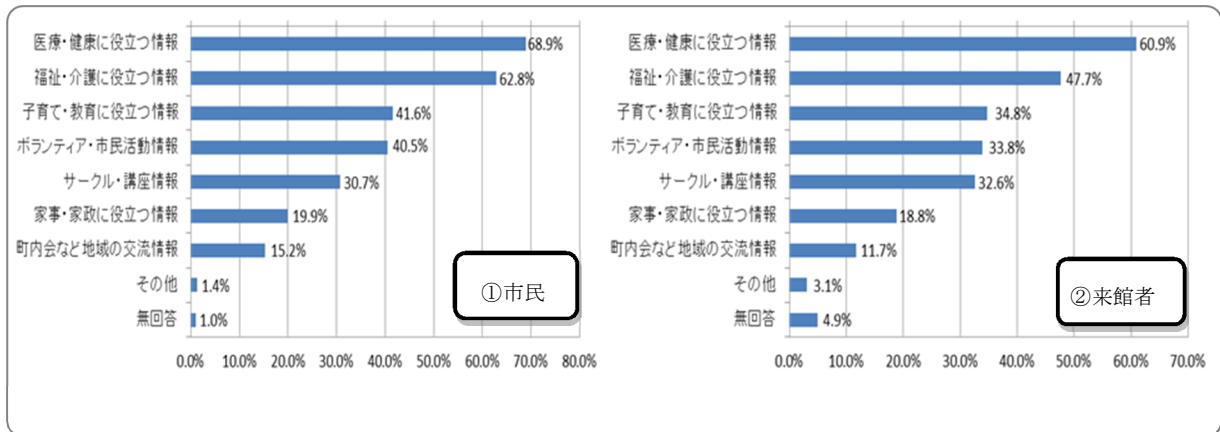
○ビジネスパーソンを支援するために特に力を入れて欲しいサービス・活動として、「専門書・業界新聞・業界誌の充実」「就業情報コーナーの設置」「ビジネス関連図書・資料の充実」が多く回答されました。



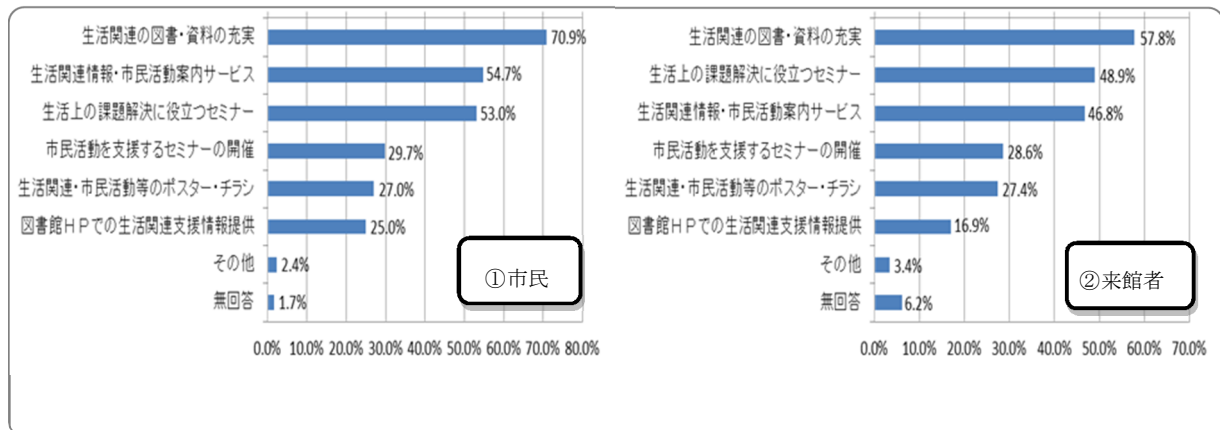


【くらし支援】

○日常の課題解決を支援するために、特に力を入れて提供して欲しい情報として、「医療・健康に役立つ情報」「福祉・介護に役立つ情報」「子育て、教育に役立つ情報」が多く回答されました。

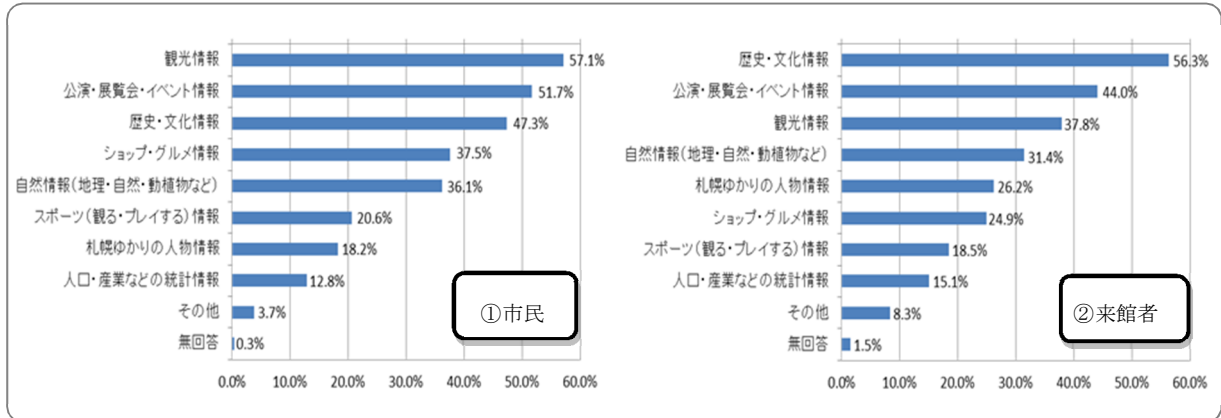


○日常の課題解決を支援するために、特に力を入れて欲しいサービス・活動として、「生活（医療・福祉・教育・家庭など）関連の図書・資料スペースの充実」「生活関連情報や市民活動案内サービスの充実」「生活上の課題解決に役立つセミナーの開催」が多く回答されました。

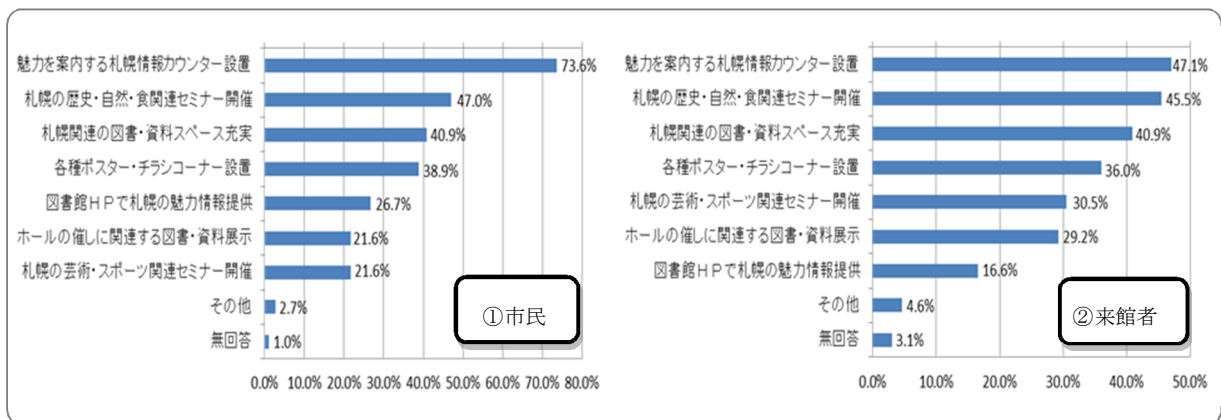


【魅力発信】

○札幌の魅力を発信するために、特に力を入れて提供して欲しい情報として、「観光情報」「歴史・文化情報」「公演・展覧会・イベント情報」が多く回答されました。



○札幌の魅力を発信するために、特に力を入れて欲しいサービス・活動として、「札幌の魅力を案内する札幌情報カウンターの設置」「札幌の歴史・自然・食に関するセミナーの開催」「札幌の魅力を調べる図書・資料スペースの充実」が多く回答されました。



2 調査結果（概要）

役割1：札幌の魅力発信

★札幌の魅力発信ライブラリー【1階】

- ・資料を見やすく並べる（表紙を見せる本の置き方は有効）
- ・頻繁に変わる展示・プレゼンテーションに対応できるフレキシブルさ

■ 魅力発信のための資料・情報の提供

○観光・イベント情報を充実

- ・観光・イベントに関する多岐にわたる情報、ポスター、チラシ、パンフレットを収集・提供

○観光情報パスファインダーを作成

- ・図書館の資料・情報を利用した図書館発の新たなさっぽろ観光を提案 ⇒ポスター、チラシ、HP

○札幌の歴史・食・自然・スポーツ・文化芸術資料を充実

- ・タウン誌・各種情報誌を含め、札幌の魅力を伝える図書や雑誌を配架

○劇場生まれの作品資料や札幌関連の視聴覚資料・情報を充実

- ・オリジナル作品に関する資料の収集・保存のほか、同一施設内に入るHTBとの連携も図りたい

○電子図書館と札幌デジタル・コレクション

- ・札幌ならではの魅力ある題材をテーマにしたコンテンツ「札幌デジタル・コレクション」を制作
（例：アイヌの文化、北海道開拓の歴史、さっぽろ雪まつりの変遷、札幌のウィンタースポーツ等）

■ 札幌情報カウンターでのサービス

- ・札幌の街の案内、「札幌」に関するレファレンスサービス
- ・地元書店との相互案内サービス（双方の利用活性化が期待される。他カウンターでも同様に案内）

■ 札幌セミナーの開催

- ・札幌の歴史・自然・食に関連するセミナーを開催（新聞社や放送局との連携が有効）

■ 展示・プレゼンテーションエリアからの発信

- ・市内のイベントガイドや季節の展示 ・スタッフや文化人などによるセレクトライブラリー
- ・ホールやアートセンターでの催しに関連する資料の展示（複合交流施設のメリットを活かす）

役割2：役立つ情報の提供

★仕事と暮らし支援ライブラリー【2階】

- ・図書を中心とした都心にふさわしい図書館の中核
- ・分かりやすい書架群と、複数のタイプの豊富な座席を用意

①ビジネスパーソンに役立つサービス

■ 仕事に役立つ資料・情報の提供

○就職情報コーナーの設置

- ・学生、転職希望者、シニア世代など、対象者を明確にしたうえでの情報提供が肝要

○就職情報パスファインダーを作成

- ・対象者や業種別に情報を編集し、「就職情報の探し方ガイド」を作成（要他部局との連携）

○資格取得・スキルアップ情報を充実

- ・複数人に同時貸出するために参考書や問題集、各種資格試験情報、講座案内などを電子書籍で提供

○専門書・業界紙・データベースを充実

- ・法律・経済・政治・産業等に重点を置いた専門書のほか、商用データベースも利用可能に

○起業・経営支援情報を提供

- ・指南書等の「事前学習」から「市場調査」「事業計画」「各種届出」までステップ毎に棚づくり
- ・商圈分析システム（特定エリア内の必要な地域特性データを表
示・分析し証券情報を提供するシステム）の提供も検討する価値あり

○起業・経営情報パスファインダーを作成

- ・「起業のための情報ガイド」「経営の悩みに役立つ情報ガイド」を作成（要他部局との連携）

■ ビジネス支援カウンターでのサービス

- ・ビジネスに関するレファレンスサービス
- ・札幌中小企業支援センターなどの専門機関や相談窓口の紹介
- ・専門機関相談員の図書館への出張窓口の設置も検討の価値あり

■ 仕事に役立つセミナーの開催

- ・データベース活用セミナー、就職支援セミナー、スキルアップセミナー、起業・経営支援セミナー

② 日常の課題解決や様々な活動に役立つサービス

■ 日常の課題解決に役立ち様々な活動に役立つ資料・情報を提供

- ・医療、健康、福祉、介護などの課題解決に役立つ情報を充実
- ・子育てや教育に関する情報を、親が読みたい図書・親が知りたい情報という視点で収集整理
- ・ボランティア、市民活動情報を提供 ⇒課題を抱えた人とNPO団体等を結びつける
- ・くらしの課題解決パスファインダーを作成（ストーリー、離婚、不当解雇、多重債務、虐待など）

■ くらしの支援カウンターでのサービス

- ・くらし全般に関するレファレンス
- ・市民サービス機関や市民活動団体の各種相談窓口を案内（各区保健福祉の総合窓口とも協調）
- ・保健、医療、福祉に関する市の取組みの情報提供

■ くらしに役立つセミナーの開催

- ・医療・健康セミナー、福祉・介護セミナー、子育て・教育セミナー、市民活動を支援するセミナー
- ・セミナーのあとには、司書が関連図書や専門窓口を紹介するなどの情報提供も行う

役割3：都心の知的空間

■ 居心地の良いライブラリー・カフェ

- ・図書館の本を持ち込め、無線LAN環境が整った場所
⇒くつろぎ、歓談、打合せ、仕事の場所の提供

■ 複合施設の各種スペースをセミナー・イベント会場に

- ・高機能ホール・アートセンター各室を活用するだけでなく、図書館専用の多目的スペースも設置

■ 書齋スペース、交流・研究スペース

- ・仕切りのある個人用閲覧席（ビジネスパーソン向け書齋スペース）【静寂性】
 - ・グループ利用を想定したフレキシブルな交流・研究スペース【会話可能】
- 物理的に区画

蔵書規模・蔵書構成

■ 図書：【10万冊】（文学、児童書、YAは原則配架せず）

○札幌の魅力発信ライブラリー

- ・歴史、食、自然、スポーツ、文化芸術など、札幌を知るうえで参考資料となるものを重点的に
- ・外国語図書も含めてすぐに役立つ実用的資料を充実（中央図書館は、調査・研究用を充実）

○仕事と暮らし支援ライブラリー

- ・業界情報、資格取得・スキルアップ、就職、マーケティング、経済、法律等（仕事支援）
- ・医療、福祉、情報技術、教育、まちづくり分野等（くらし支援）

■ 図書以外

- ・新聞【90紙】、雑誌【600種】、電子図書館、視聴覚資料、商用データベース【10種以上】

■ 蔵書構成

- ・総記、社会科学、自然科学、技術、産業を重点的に配架
- ・蔵書は受け入れ後8年間開架し、その後は中央図書館で保存
- ・実際の運営ではニーズに合わせて資料収集する必要があるが、原則貸出を行わないため、利用者のニーズを把握する方法を検討する必要がある（ICタグを活用？）

管理運営体制

■ 市職員の配置

- ・連携する関係機関との協議・交渉の重要性から、準備段階から軌道に乗るまで、市職員の配置は必須
- ・レファレンスの強化、情報の編集、オリジナルコンテンツの作成、高度な企画展示を行うことができる職員数を配置

■ 職員に求められる専門性

- ・情報編集力、連携力、発信力、対話力

資料3 他都市図書館の調査概要

調査先	調査目的	調査概要
大阪市立中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> 充実したビジネス支援コーナー 来館者が自由に閲覧できる商用データベースの提供 無線LANアクセスポイントサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の創意工夫により、ビジネス支援に関する豊富な情報を収集または作成。 ビジネス入門書、社史、CSR報告書等を集めたビジネス書コーナーを設置。 市内の企業からの寄贈による「大阪市内会社パンフレット集」を設置。 最新のビジネスニュースをテーマに関連図書の紹介を行う「ビジネス書コーナーワンポイントニュース」を製作。 資格取得関連書、履歴書の書き方等を集めた棚を設置するとともに、就業を支援する公的機関のパンフレット等を配架。 フロア内において、ガラス壁で仕切り、個人がパソコンを持ち込んで作業が可能な電子機器利用席を設置。 28種の商用データベースを無料で利用可能な端末を計42台配置（市立図書館全体では102台）。 身近な問題を用意した「商用データベース検定」を開催するなど、情報リテラシー支援にも力を入れている。
大阪府立中之島図書館	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス支援に特化した充実したビジネス関係資料 来館者が自由に閲覧できる商用データベースの提供 無線LANアクセスポイントサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 市場調査や就職活動、取引先調査、ビジネス文書の作成等に活用するためのビジネス関連資料を豊富に提供。 年鑑・年報、会社・団体名簿、経済・経営・法律関係、社史、CSR報告、住宅地図、官報等を提供。 インターネット端末11台、データベース端末8台を無料で提供 個人がパソコンを持ち込んで作業が可能な電子機器利用席を27席設置。 主要全国紙の本紙、縮刷版、マイクロフィルム、各種業界の最新の動向がわかる業界紙を347紙取り揃えている。 ビジネスセミナーやデータベース研修会などを随時開催し、利用者の情報リテラシー支援を行っている。 ビジネス関連の膨大なパスファインダー、充実したホームページ、メールマガジン配信等、積極的に情報発信。 社史・団体史・CSR報告書等をビジネスに関する重要な資料と位置づけ、企業に対して積極的な寄贈依頼。
静岡市立御幸町図書館	<ul style="list-style-type: none"> 他機関との連携によるビジネス支援 ビジネス支援のための展示を重視した本棚づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的ビジネス支援（コンサルティングやセミナー）は同一施設内の産学交流センターが行い、図書館はビジネス情報を身近なものとするための情報発信を行うことで双方連携。ビジネスに関する書籍を際立たせる「棚作り」を重視。 インターネット・データベースを自由に利用可能な「電子図書館・閲覧室」を設置し、30台の利用者用端末を配置。 人材派遣会社からサーチャージャーの派遣を受け、利用者のデータベース利用をサポート。 レファレンスサービスの高度化を、ビジネス支援の名のもとに実践しようとしているように思われる。
千代田区立千代田図書館	<ul style="list-style-type: none"> 「セカンドオフィスゾーン」のコンセプト 	<ul style="list-style-type: none"> フロア北側を「セカンドオフィスゾーン」と位置づけ、ビジネスパーソンの滞在スペースとして活用。蔵書を活用した調査・研究以外に、仕事や学習の場、企業同士の商談の場としての活用が可能。 ビジネス支援を「ビジネスパーソンのセルフレファレンスツールの提供」と「滞在しやすい環境の整備」と位置づける。 退社後に図書館を活用して仕事の続きをするためには3時間程度が必要であると考え、開館時間は22時までとしている。 フロア内に携帯電話の利用が可能なスペースを確保するなど、ビジネスパーソンの長時間滞在が可能。 来館した際に調査ができないことが無いよう、セカンドオフィスゾーンに配架されている資料は全て禁帯出資料。 9種類のオンラインデータベースを導入し、最新の情報から過去の新聞記事などを容易に検索できる環境を整備。 個人がパソコンを持ち込んで作業が可能な電子機器利用席を設置。
アカデミーヒルズ 六本木ライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> 民営の有料ビジネス支援型ライブラリー機能 	<ul style="list-style-type: none"> 会員制・有料の民営ライブラリー施設。個人年会費約10万で8:00から23:00まで利用可能。 図書館機能にサロンを併設することにより、「知と仲間の出会いの場」を提供。 資料は私的な利用を中心に「新刊書」を提供。館外貸出や蔵書の複写はできないが、蔵書の購入は可能。 館内は全て無線LANによりインターネットにアクセス可能。 メンバーを対象としたセミナー、イベント等が随時開催され、メンバー同士のネットワークを築く機会として活用。 図書館という制約を離れて、私的な書斎の延長としての施設利用に特化した存在。

<p>せんだいメディアテーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術や映像文化などの発表の場、活動の場、図書館を一体化した複合施設の機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・①「表現空間の提供（アートギャラリー）」、②「活動空間の提供（スタジオ）」、③「知識や情報の提供（映像音響ライブラリー、目や耳の不自由な方のライブラリー）」、④「図書館」という4機能を融合した複合文化施設。 ・様々な記録媒体の情報を収集・保存・提供することにより、美術・映像文化を創造し普及させる場を提供することが目的。 ・平成13年の開館以来、映画祭やアートイベント、シンポジウム等が数多く開催。 ・施設の構造・デザインが高く評価されており、海外からの多くの観光客を含め、年間約100万人が利用。
<p>千代田区立図書文化館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの開催状況 ・複合施設内におけるアート資料の展示方法 ・アート資料、ビジネス支援に重点を置いたサービス内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は10時から22時まで開館しており、利用者からは好評。 ・図書館のほかに、ミュージアム、カフェ、ホールを併設する複合施設。カフェに図書を持ち込むことができる。 ・蓋付きの飲み物は、図書館への持ち込み可能。 ・「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づくセミナーを1か月に10回程度開催。講義型だけでなくワークショップ型も実施し、「学び」と「交流」の場を提供している。 ・アート情報支援コーナーを設置。近隣の美術館・博物館の展示や企画を紹介し、関連図書を配架。 ・約300の閲覧席を有し、ビジネスパーソン向けのセカンドオフィス機能、調査・読書環境を提供。児童書を配架せず大人を対象。 ・施設全体を横断する展示の企画プロジェクトを実施。質の高い展示に繋がっている。
<p>くまもと森都心プラザ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内他施設との連携によるビジネス支援・観光情報発信 ・ビジネス支援センターの支援内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、ビジネス支援センター、観光・郷土情報発信センター、ホール（489席）、託児所の複合施設 ・図書館内の36席の学習席は、1日2～3交代制としており、長時間の離席を防止 ・観光・郷土情報発信センターでのイベントと連動して、図書館内に関係資料コーナーを設置 ・ビジネス支援用DBは12種。利用者を対象に活用セミナーを開催するほか、職員向けにも研修を行いレファレンスに活用 ・図書館とビジネス支援センターが同じフロアにあり、図書館職員がビジネス支援センターでレファレンスを行うこともある。 ・ビジネス支援センターの利用者が必要とする資料を提供することにより、ビジネス支援を資料面から支えている。 <p>[ビジネス支援センターの支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス支援センターには中小企業診断士や融資相談員がほぼ常駐。経営改善や創業に関する無料のアドバイスを実施 ・弁護士・税理士等の専門家による法律、仕事の悩み、知的財産、税務などの無料相談会を定期的の実施 ・創業を志す人や創業後間もない人に「創業支援室」（レンタルオフィス）を無償貸与。センター職員や専門家が継続的に助言
<p>武雄市図書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力導入（指定管理者）の先進事例 ・利用者増加につながる効果的な演出 	<ul style="list-style-type: none"> ・TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブを指定管理者として平成25年4月にリニューアル ・図書館と一緒に書店とカフェが併設。入口付近は書店でBGMが流れている。奥が図書館部分で、奥に進むほどにBGMが聞こえなくなるように書棚レイアウト上の工夫が施されており、最奥部ではほぼ無音 ・雑誌は購入せず600タイトルを書店で販売（図書購入費の節約）しているが、カフェで飲食しながら自由に読むことが可能 ・10進分類法を使わず、TSUTAYAが独自に使用している22分類で配架（この方が利用者にとってわかりやすいという考えから） ・自動貸出機（書店の本の購入も可）の利用率は高く、自動貸出機の利用に限りTポイント付与することで利用率を上げる工夫
<p>山口市中央図書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・併設施設との連携状況 ・複合施設としての管理運営方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・直営であるため現場の問題意識を政策や予算措置につなげやすい一方、特にアート系職員の服装や考え方等、職員の雰囲気非常に異なるため、他施設との連携を図る際には、スムーズにいかないといった課題がある。 ・特筆すべき連携活動なし（山口市初の図書館であり自館運営に尽力していたため連携を図る余裕がなかった）。しかし、今後はYCAM内はじめ隣接するNHK放送局、FM放送局との連携イベントも企画中 ・レファレンスは一日平均で1～2件程度と非常に少ない ・図書館利用者と他施設利用者が明確に分かれており、各々の施設の交流といったものは出来上がっていない模様

資料4 蔵書構成

都心にふさわしい図書館の詳細な蔵書構成は、以下のとおりです。

- ・ 0類（総記・情報）…（5,000冊程度）
参考資料…百科事典、目録、索引等（主にデータベースを活用）
一般資料…手帳、ノート術などの情報整理術、インターネットを活用した情報検索術、コンピュータ関係、古書店経営、出版、ジャーナリズム関係等
- ・ 1類（哲学・宗教）…（1,000冊程度）
参考資料…哲学辞典、マスコミ総覧、宗教事典、心理学事典等
一般資料…経営者の手記、仕事術等
- ・ 2類（歴史・地理）…（500冊程度）
参考図書…人物事典、職員録等
一般資料…経営者の個人伝記、地理紀行等
- ・ 3類（社会科学）…（15,000冊程度）
参考図書…白書類、会社録、統計、財政、年報、行政資料、法律（各種六法、逐条解説等）、各種調査報告等
一般図書…日本、各国の政治・経済・文化事情など最新時事本や社会保障、経営管理（ビジネスマナー等含む）等
- ・ 4類（自然科学）…（1,000冊程度）
参考図書…理科年表、植物図鑑、地学事典。医学に関する統計や名簿類等
一般図書…社員の健康管理、職場の安全衛生に関する医療関連図書等
- ・ 5類（技術・工学）…（8,500冊程度）
参考図書…工業、建築、土木、特許、環境、機械、エネルギー、電気工学、化学工業、食品工業に関する年鑑、ハンドブック、名鑑等

一般図書…上記分野についての入門書から専門書。工業・建築・パッケージデザイン関連図書等

・ 6 類（産業）…（12,000冊程度）

参考図書…マーケットシェア、業界情報に関する図書。農林水産に関する統計書、関連法規。各種商業、貿易に関する年鑑、名鑑、資料集

一般図書…就農、開業、ビジネス文書、広告、マーケティング等関連図書

・ 7 類（芸術）…（5,000冊程度）

参考図書…美術年鑑や日本タレント名鑑など、年鑑名鑑類

一般図書…国内外アーティスト作品、創作活動やビジネスのアイデアに役立つ図書

・ 8 類（言語）…（1,000冊程度）

参考図書…国語辞典、各種外国語辞典等

一般図書…語学の習得に必要な図書等

・ 9 類（文学）…（1,000冊程度）

参考図書…世界文学事典、近代文学大辞典、大歳時記等

・ 郷土資料…（10,000冊程度）

参考図書…統計、事典、地図類、各事業史、行政資料等

一般図書…歴史、文化、自然に関する図書を中心に、各分類を幅広く収集